



グローバリズムと新たな世界

令和 7 年 9 月 17 日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

低金利政策と海外への資金の流出は、産業の次世代への転換とともに、日本の経済を一変させたものである。

これらは国家の経済政策や金融政策、金利政策や為替政策は如実に経済の現実の育成することを意味するものである。

世界経済の今日の現実には、新たな技術や資本力における経済の現実を有するものであり、それら新たなグローバルスタンダードは、企業経営において決して否定できるものでない。

産業は新たな基準への転換を今日における産業革命とともに有するものである。これら経済のルールが自由経済システムという現実であり、グローバル経済の統一化とともに、世界経済の現実を与えるものである。

これら実体経済の背後には、金融経済が存在する。世界における資本力は投資とともにその富の創造を求めるのである。

これらは経済の発展が豊かさを創造するという過去の幻想は、インフレなどの現実において今日においては社会の 2 分化を与えるものである。

これらへの明察を求めるとき、時代性という現実を生きることは、新たな未来への参加を行うことであり、それを得ない存在との 2 極化が存在するのである。

これらは今日の変化における相反する現実への正しい理解である。また豊かさは新たな経済構造への転換において、自己資本力を求めるものであり、中流という現実を生きることは、社会におけるその責任と現実の要求を与えるものである。

これらは新しい社会の枠組みが存在し、それらは新しい現実における生活の構築を与えるものであることを理解できる。

変化は必ず新しい未来への転換である。